

5 雇止めの状況

有期契約労働者が、現在の仕事の前にも有期契約労働者だったことがある場合の雇止め経験の有無をみると、「雇止めの経験がある」20.6%となっており、これを性別でみると、男25.6%、女19.4%となっている。

就業形態別にみると、「雇止めの経験がある」のは、嘱託社員28.2%と契約社員22.6%で高くなっている。(表39)

雇止め経験のある者の説明された雇止めの主な理由をみると、「契約期間の満了」35.7%が最も多くなっている。

就業形態別にみると、すべての就業形態で「契約期間の満了」が最も多くなっている。(表40)

雇止めの理由の説明で受けた意識をみると、「特に不満は感じなかった」59.4%が最も多くなっている。

就業形態別にみると、すべての就業形態で「特に不満は感じなかった」が最も多くなっている。(表41)

表39 性・就業形態、雇止めの経験の有無別有期契約労働者の割合

(単位：%)

性・就業形態	有期契約労働者だったことがある労働者計	雇止めの経験の有無		
		雇止めの経験がある	雇止めの経験はない	不明
総数	[25.9] 100.0	20.6	75.3	4.1
男	[18.5] 100.0	25.6	67.5	6.9
女	[28.9] 100.0	19.4	77.2	3.4
就業形態				
契約社員	[25.6] 100.0	22.6	73.1	4.3
嘱託社員	[11.4] 100.0	28.2	66.2	5.6
短時間のパートタイマー	[27.9] 100.0	18.7	77.4	3.8
その他のパートタイマー	[24.8] 100.0	19.3	75.7	5.0
その他	[29.4] 100.0	29.1	67.2	3.7

注：[]は現在の仕事の前にも有期契約労働者だったことがある労働者の全有期契約労働者に対する割合である。

表40 就業形態、雇止め経験がある者の説明された雇止めの主な理由別有期契約労働者の割合

(単位：%)

就業形態	雇止めの経験がある労働者計	景気の変動などによる業務量の減少	経営状況の悪化	勤務成績	担当していた業務・職務の終了	契約期間の満了	契約期間・年齢・回数に達したため	育児休業・介護休業の申出をしたため	その他	特に説明なし	不明
総数	100.0	18.3	10.5	0.9	17.8	35.7	3.2	0.2	7.8	2.5	3.1
契約社員	100.0	9.0	11.8	0.0	20.2	40.9	1.6	0.3	8.9	3.3	4.0
嘱託社員	100.0	15.8	7.4	-	14.9	35.6	13.0	-	8.6	0.7	4.0
短時間のパートタイマー	100.0	22.6	13.0	1.3	19.0	31.0	2.1	0.2	5.9	2.8	2.1
その他のパートタイマー	100.0	19.6	8.6	1.5	11.0	28.1	6.0	0.1	17.0	3.3	4.8
その他	100.0	9.6	2.7	-	19.8	58.1	2.4	-	3.7	0.1	3.6